

14 歳 重度重複障がい



友人の紹介でBLACKSOXの活動を知りました。
参加の動機は閉ざされがちな娘の世界を少しでも広げるため。何か彼女に
っているのか、どのような可能性があるのか分からない中で、出来るだけ多
くの多様な体験をさせようと考え参加しました。

数回目の参加の際に「いつもお父さんと一緒だからテニスの時くらいは別
がいいよね」とスタッフの方が娘に声をかけたら、初めて聞いた大きな声で
「お父さんと打ちたい！！！」と言われました。

（子供が産まれたらいつかキャッチボールをしてみたい。）というような漠然とした夢は僕にもあったので、キ
ャッチボールじゃないけど娘とのラリーというのはやっぱり感慨深かったです。（後でへたくそと言われないう、かなり必死だったが。）娘も楽しかったと言ってくれました。

娘に参加して何が嬉しいか聞いたら、「ラケット持てるようになったこと！」「友達ができたこと！」と言っ
ていました。やはり世界が広がった事に喜びと自信を感じているようです。

僕らだけではなかなか実現できないことなので、イベントという場を設けていただき、いろいろとお手伝い
お心遣いいただいた皆様に心より感謝しています。

15 歳 元医療的ケア児童 広汎性発達障がい



医療的ケアがあった小さな頃より参加させて頂いてます。

何かスポーツをやらせたいなと思っていても医療的ケア児支援法も出来る前なので、なかなか余暇の場があり
ませんでした。HPでブラックソックスさんを見つけ医療的ケア児でも参加できるとの事で、今はケアが無くな
りましたが、本人も行きたいと意欲的で続けています。

現在、特別支援学校に通っていますが、小中と部活動、体育祭も無く、身体は大きくなりエネルギーがある
のですが、体を動かす機会、場がありません。普通のスポーツ教室に通うのも困難です。ブラックソックスさ
んはテニス以外にチャレンジスポーツ！の機会も作って下さり、他のお子さん達、サポーターさん達との交流
も得られ、また外出するので公共機関、外出、外食のマナーの練習にもなります。

一番大きな収穫は本人の意欲、達成感でしょうか。卒後は体を動かしたり、放課後デイサービスも無くなる
ので、他の方との交流できる場が全く無くなります。知的障害の方が一人で行くのは困難ですので、こういう
機会を第三者が提供して下さるのは参加しやすいのでとてもありがたく、またずっと継続して頂きたいで
す。

13 歳 軽度の知的障害



普段はチャレンジテニス！に参加、チャレンジスポーツ！は3度目の参加です。毎回、楽しんで参加させていただいております。今回の東京では、今までにないトランポリンやフラダンスなど初めての種目もあり、子供も楽しんでおりました。

また、なかなか自分から声をかけられない性格ですが、ボランティアの方々が積極的に声をかけてくださり、自分からも声をかけて、次はあれがしたい、これがしたいと積極的に話しかけられる姿が見えてとても良い機会となりました。

13 歳 & 10 歳 健常児 チャレンジテニス！ & サポート



BLACKSOX さんのテニスに参加したきっかけは、子ども達にテニスやらせてみたかったのと、小さな頃からボランティア活動に触れさせたかったからです。

正直、障がい児の方達との触れ合うことに対して子ども達がどう反応するか最初は緊張しましたが、ボランティアのコーチが一人一人の様子をよく見ていて、アドバイスも的確にしてくれるので、健常児も障がい児も自分のレベルにあった体験ができ、垣根を感じずテニスを楽しんでいます。子ども達は分かりやすく面白い！と毎回楽しみにしています。

15 歳 サポーター



私たち親子は娘が小学2年生の夏からチャレンジスポーツに参加しました。まだ娘が小さかった事もあり、ボランティアとして参加というより、一緒に遊んで楽しい感じが強かったです。特に同じくらいの年齢のお友だちとは、何度か会っているうちにお互いの成長を感じ合う仲間ようになっていきました。

そして娘の関心は広がり、ロボットカフェに行ったり、車椅子サッカーの映画を見に行ったり、パラリンピックのチケットもたくさん申し込みました。娘にとっては小学2年生から参加した事が大きかったように思います。今、中学3年生ですが、何年も一緒に参加しているお友だちができ、会うのが楽しみになっています。

15 歳 サポーター テニス部



僕はテニスで出会った先輩から誘っていただき今年からブラックソックスに参加しています。

僕の両親は夜遅くまで仕事をしているので、小学校の時はテニスも含めて習い事はあきらめていましたが、

コロナ禍に出会ったテニスのコーチが「今までチャンスがなかったんだね。」と、中学生になる僕をチームに受け入れてくれました。

その後、僕は家の事情で別のチームに移ったのですが、新しいチームのコーチとの出会いも僕の人生に大きな影響を与えてくれました。

テニスの楽しさを知り、チャレンジすることや、あきらめないこと、自分ができることを考えて努力すること、で未来が変わっていくことを教えてくれました。

今、僕は、ブラックソックスに参加させてもらい、まさに、自分がしてもらったことを、ここで返していきたいと思います。自分を取り巻く環境や状況であきらめてしまうことは、健常者も障がい者もおんなじようにあります。

だから今、自分にできることを精一杯やりたいと思っています。

「チャンスがなかったら作ってあげたい」「テニスができた時のあの嬉しさを経験してもらいたい」

「あきらめないで楽しんでほしい」そんな気持ちで参加しています。

ちょっとかっこいいことを言っていますが、実は今も僕は試合で負けてくじけたり、学校の勉強や進学で悩んだりしています。

でも、このイベントに参加して「できた」って言って喜んでもらったり家族からありがとうって言ってもらったりして、また頑張ろうというパワーをもらっています。

誰かにチャンスを作れる大人になりたいと思っています。

16 歳 サポーター テニス部



ブラックソックスの活動を通して学んだことは沢山あります。

私が初めてブラックソックスのチャレンジテニスに参加したのは小学校低学年の時でした。その頃は母に連れられて行っていました。

その頃の活動で一番記憶に残っている活動は、99歳の方とテニスを行った時のことです。

イベント参加の時は、全く知らない人ともテニスができるため、すごく貴重な体験です。

私は、はじめは連れて行かれることが多かったですが、小学校高学年くらいからは、自ら行きたくなっていました。テニス部の部活動があるためなかなかいけません、時間があると言っています。

私は今までの活動を通して、どんな人とも関わることができるようになり、人と関わることに自信が持てるようになりました。

将来は看護の方へ進みたいです。沢山参加をしていきたくさんのことを学んでいきたいと思っています。

大学生 サポーター・運営スタッフ テニス未経験



高校時代、何か人の役に立つことをしてみたいと大学進学や将来の仕事について考えていたタイミングで母親の仕事の関係もあり BLACKSOX のボランティア活動に出会いました。テニス未経験で、ボランティアも初めてだったため初めは不安もありましたが、簡単なレクチャーを受けた後、ボールを投げる、ラケットを持つ腕を支える、ことから始めました。

回を重ねるごとに上手くサポートできるようになり、参加する皆さんと一緒に活動を楽しむことが出来ています。

大きな会場で行われる「チャレンジスポーツ」ではテニス以外でも工夫を凝らしたスポーツや、iPad を使った意思疎通体験など、誰もが参加しやすいプログラムを集めていて、参加者はすごく楽しんでくれます。普段あまり感情が表に出ない子でも沢山褒めてあげたり、ボールを返せたりすると表情が明るくなっていく様子を見ると、とても嬉しくやりがいを感じます。

大学入学後も参加しており、今では学生スタッフとして Instagram で 学生ボランティアの募集、活動の宣伝を行うなど、運営にも関わっています。何かの団体の運営に関わることは、大学でもなかなか経験できないことなのでそういった機会がある事はとても良い事だと感じます。

BLACKSOX の活動を通じて沢山の事を経験しています。